

こんな人におすすめ



- 晩酌をされる方
- 悪酔い・二日酔いをする方
- 仕事でよくお酒を飲まれる方
- お酒デビューを考えられている方

検査方法

検査は簡単！綿棒で口の中をこするだけ。

検査は、ご自分で専用の綿棒(スワブ)を用いて口腔粘膜を採取します。

詳しくは、採取方法の説明書をご確認ください。



アルコール分解酵素遺伝子検査

たくさん飲み続けると大変なことに！
生活習慣の乱れは
食道癌のリスクを高めます！



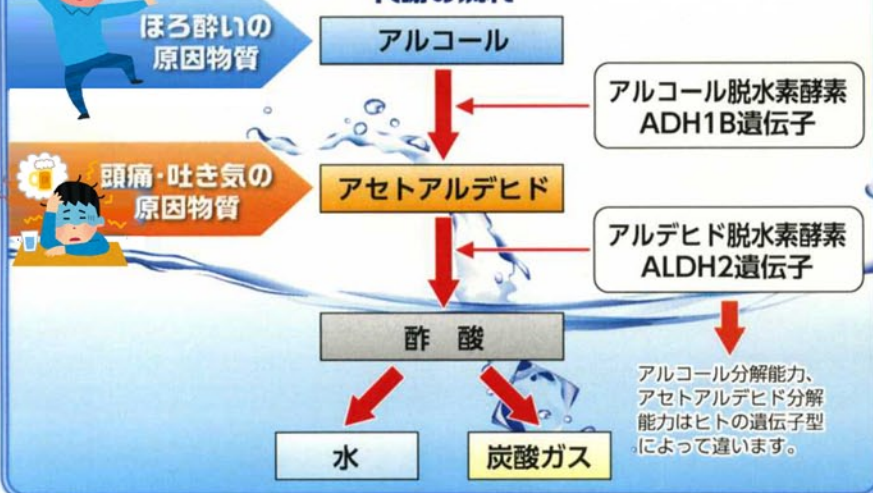
お酒を飲むあなた **注目**
遺伝子検査で自分のタイプを
今すぐ調べてみませんか？

お酒(アルコール)に「強い」「弱い」は、 遺伝子を調べると分かります

アルコールの代謝

口から入ったアルコールは、胃や小腸で大部分が吸収され、血液に溶け込んで、まず肝臓に送られます。

アルコールの肝臓内での代謝の流れ



飲酒・喫煙・遺伝子型の組み合わせと日本人の食道がんリスク

(症例/対象:1070人/2836人)

タイプ	ADH1B / ALDH2	週に缶ビール7缶未満 非喫煙	週に缶ビール7缶未満 喫煙	週に缶ビール7缶以上 非喫煙	週に缶ビール7缶以上 喫煙
A	弱い / 強い	1.9	3.3	6.9	12.4
B	強い / 強い	1	1.8	1.9	3.4
C	弱い / 弱い	6.8	23.1	55.7	189.2倍
D	強い / 弱い	1.7	5.7	7	23.7

(Eタイプの方は比較対象外となります)

Cui et al Gastroenterology 137:1768-75 2009

1) 多量飲酒と喫煙は食道がんのリスクを高めます。生活習慣が乱れている人ほど遺伝子自体によるリスクが急増しています。
2) 飲酒によるリスクは週96.5g以上の純エタノール摂取で増大すると報告されています。この純エタノール量96.5gはアルコール分5%ビールで350ml缶約7本分に相当します。

検査結果は、アルコール依存症になりやすい順に A~Eの5タイプに分類されます

タイプ	アルコール分解酵素 ADH1B	アルデヒド分解酵素 ALDH2	説明
A	弱い *1/*1	強い *1/*1	一般の人の4%アルコール依存症では27%飲酒で赤くなる不快な反応がなく、たくさん飲むと酒が抜けずに翌朝も酒臭い。アルコール依存症に非常になりやすい体質。
B	強い *2/*2 *1/*2	強い *1/*1	一般の人の54%、アルコール依存症では60%飲酒で赤くなる不快な反応が弱く、アルコールを速く分解するので、飲めるタイプ。たくさん飲むと肝臓の負担が大きく、肝臓を壊したり、やせ型になりやすい。
C	弱い *1/*1	弱い *1/*2	一般の人の3%、アルコール依存症では4%飲酒で赤くなる不快な反応がやや弱く、飲めるタイプと勘違いして飲んでいる人が多い。たくさん飲むとアセトアルデヒドの毒性で、大球性貧血が起こりやすく、食道がんの危険が非常に高いので飲みすぎに注意。
D	強い *2/*2	弱い *1/*2	一般の人の33%、アルコール依存症では9%飲酒で赤くなりもともとは酒に弱い。鍛えて酒飲みになる人もいるが、たくさん飲むとアセトアルデヒドの毒性で、大球性貧血が特に起こりやすく、食道がんの危険が高いので飲みすぎに注意。
E	強い弱いの いずれでも	極めて弱い *2/*2	一般の人の7%、アルコール依存症では0%ごく少量でも飲酒でもすぐに赤面し気持ち悪くなる、全くお酒が飲めない人。